

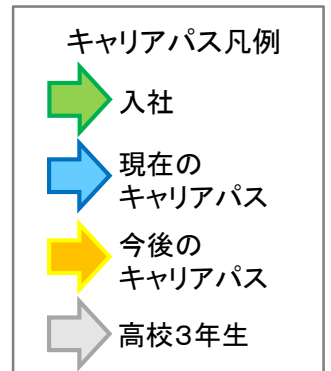
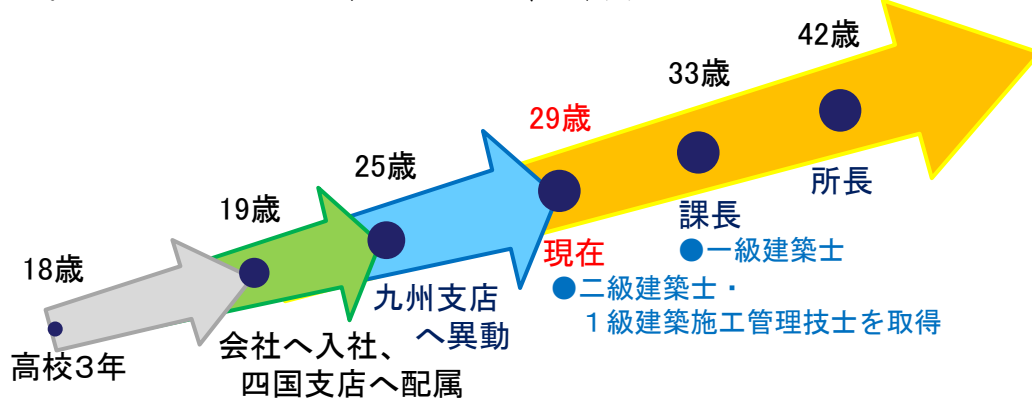
建設とは、地球最大規模の『ものづくり』
人が想像できることは、必ず人が実現できる！



施工管理（建築）

近畿・施工管理 積算 建設工事請負

職歴 11年（平成21年度卒業）



社員平均年齢25歳！社員の社員による社員の為の会社

【これまでのキャリアパス】

就職活動の中で、建築の工事現場を纏める施工管理（現場監督）の仕事を知りました。その中でも弊社は、スーパーゼネコンの主要グループ会社であり、その圧倒的スケール感の仕事にすぐさま興味を覚えました。宮崎工業高校からも先輩たちが毎年入社されている事もあり、自分もそこを目指すキッカケになりました。

現在は入社11年目、10年経って一人前と言われるこの世界ではまだまだ若手ではありますが、少しずつ中間管理職を目指したマネジメント業務も日々過ごしていく中で意識しています。

また、弊社は社員の育成に非常に力を入れており、導入教育・年次研修など様々な教育体制が整備されています。また教育指導員制度や地区別活動など、社員の自主的活動による相互研鑽にも取り組んでおり、まさに『社員が財産』社員の社員による社員の為の会社と言えます。

ONE TEAMで取り組む！世界に一つだけの単品受注生産

【現在の仕事の魅力】

巨大現場であれば、一日に入場する作業員が千人を超える事業所も、多くの企業・職種が入り交じりひとつの建物をつくりあげていく、まさにONE TEAMの取り組み、世界に一つだけの単品受注生産をそのチーム力で達成します。その道のりは長く、険しく、苦労は絶えませんが、完成した達成感はその全てを凌駕し、万感胸に迫る想いです。

今後の目標は、1級国家資格の早期取得を目指し、自身の更なるキャリアアップに努めます。

社会に貢献できることを強く実感できる仕事

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

前述したこの仕事の魅力について、建設業の使命は、

『自然災害から守る』『社会基盤の整備』『人々が豊かに暮らす為の環境をつくる』

建設というものづくりを通して、安心・安全で快適な社会を実現する事にあります。建設業は大変なイメージがあるかもしれませんが、今は世の『働き方改革』の後押しもあり、ICTツールの発展や生産性向上に向けた取り組みがなされ日々進化しています。

興味のある方は是非、我々と一緒にこれからの100年をつくってみませんか。

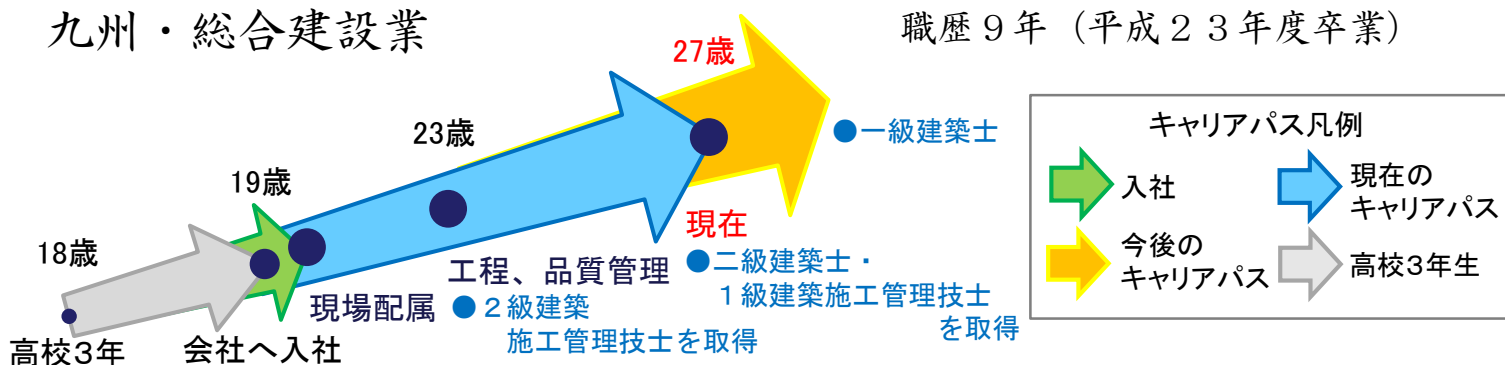
信用が日本最大を目指し、
地域に貢献できる施工管理者となる！



建築施工管理技士

九州・総合建設業

職歴9年（平成23年度卒業）



現場でたくさんの経験を積み、施工管理者に

【これまでのキャリアパス】

高校で建築について勉強する中で、学校や病院など大きな建物を建てることに携わりたいと思い、建設業への道を決めました。その中でも着工から竣工まで携わることのできる施工管理職として地元である九州の為に働きたいと思い九州最大のゼネコンである弊社に入社しました。

入社してまずは1ヶ月ほど社会人としてのマナーや基礎知識を学び、5月からは現場に配属になりました。3年目頃までは毎日現場で工事写真や段取りなど、工事の流れや知識を学びます。4、5年目から工程表や施工図などを任せられ、施主との打合せにも参加し、責任のある業務を任せられます。現在は現場を指揮すると同時に、若手社員の指導・育成を担っています。また、20代での一級建築士取得を目指し、資格取得にも力を入れています。

自分が管理した建物が地図に残り、多くの人たちの暮らしをよりよくする

【現在の仕事の魅力】

施工管理職の魅力は、「地図に残る仕事」と言われるように、完成した建物は何十年も残り、地域の方々の生活の一部となり多くの人々が利用していきます。お客様の要望に応える為に、時には職人さんに無理をお願いしなければならないときや、各所での調整で苦勞することも多いですが、その分、竣工を迎えたときの「達成感」は人一倍感じられます。竣工時にお客様から頂く「ありがとう。」の言葉で、これまでの苦勞がすべて報われ、この上ない喜びを感じられるのが魅力です。先ずは一級建築士取得を目指し、お客様から信用される知識を身に付けられるよう日々勉強していきます。

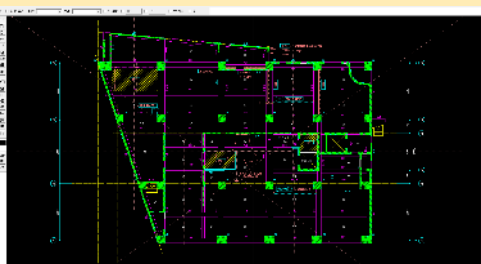
きついことも多いが、達成感是他業種に負けない

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

私たちの仕事「ものづくり」それはチームで成し遂げるものです。躯体工事から内装・仕上げ工事まで延数千人もの人と一緒に建物をつくり上げていきます。職人さんはその道のプロなのでプライドが高く、時には意見の食い違いでぶつかることもありますが、お互いが本気で良い建物をつくりたいという思いがあるからこそです。そのような職人さんと一緒につくり上げた建物が完成したときには、言葉で表すことのできない達成感・喜びを味わうことができます。

近年の日本は地震や豪雨、火山噴火など自然災害が多発しています。災害に強い建物が求められています。これからの日本を支える業種の一つとして、社会に貢献できる「ものづくり」を一緒にやりましょう！

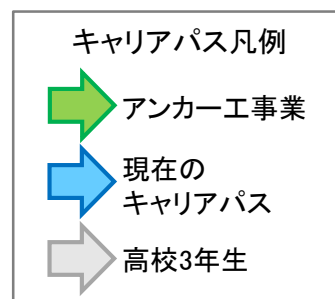
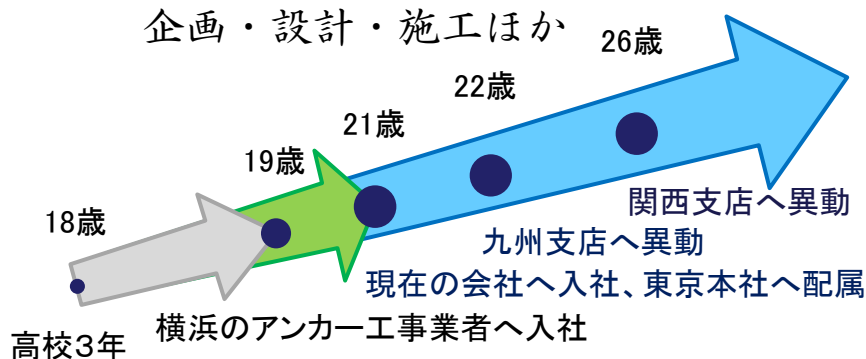
中学生の時に見たテレビ番組で建設業に憧れ、 高校から建築を目指して建設業へ！



施工管理

関東・建築及び設備リニューアル工事の
企画・設計・施工ほか 26歳

職歴6年（平成23年度卒業）



工業高校建築科からアンカー工事業者へ入社し、施工管理職へ転職

【これまでのキャリアパス】

建築に興味を持ったのは、中学校の時に見たテレビ番組でリフォームの楽しさを見たことがきっかけでした。そのまま建築科へ入学し、就職の際に当時東北大地震の直後だったこともあり耐震工事（アンカー工事）を請け負う会社へ職人として入社しました。その後、職人よりも施工管理で建築へ携わることに興味を持ち、20歳の時に転職しました。

施工管理としての仕事は、職人の時と同じ気持ちで「現場だから同じ感覚で仕事すればいいだろう」と考えておりましたが、いざ会社・上司からの教育を受けていると全然違った目線で現場に立たないといけないことがわかりました。入社して6年たちますが、未だに職人さん側への気持ちに寄って仕事する事が多く、「現場管理」としての仕事を理解して飲み込むまで結構時間かかっています。しかし、毎日楽しく過ごすことができています。

現場のビフォー・アフターを見ることができお客様の笑顔が見れること

【現在の仕事の魅力】

施工管理のため、先頭に立って現場を回す立ち位置につくことが多く、一番お客様と接する機会が多いです。そのため、施工中はお客様との間で予算とクオリティのバランスを調整することが有り大変な思いをすることもたくさんあります。最後は、お客様から感謝の言葉をいただくほか喜んでくれる顔を見ることができるので、それが今のやり甲斐となっております。

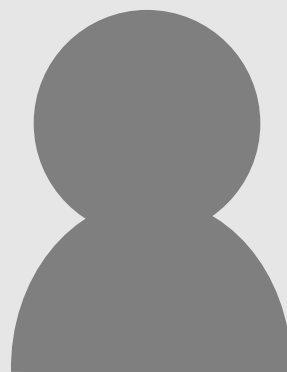
私が勤務している会社がリニューアルをメインに受注しているため、今後もお客様に喜んでいただけるようなものを提供し続けていきたいです。

幅広い年齢層の方とコミュニケーションが取れ色々学べる

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

建設業は学歴なく仕事を始めることができる業種のため、現場ごとにさまざまな方とお話しすることができます。建設業の中で職種がかなり分かれているため、さまざまな方と接する中で厳しい言い方しかできない人もいるかも知れませんが、基本的には皆さん面倒見の良い方が多いので、分からないことなどがあっても気軽に話しかけていろいろな情報を自分のものにするのが可能。自分の人生の幅がかなり広がりプラスになることが多いので、興味がある方は是非建設業の世界へ飛び込んでください。

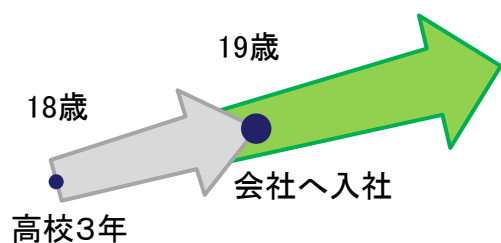
形に残るものを築くことのできる誇らしさ、
建物が完成した時の達成感！



建築作業所の管理監督者

県内・総合建設業

職歴4年（平成28年度卒業）



これまで携わった現場

- ・温泉施設
- ・ホテル改修工事
- ・社屋新築工事
- ・ビル新築工事

キャリアパス凡例



興味のあることを仕事に

【これまでのキャリアパス】

建築科に入学した時から建築に興味はありましたが、「卒業後は建築関係の仕事に携わるだろう」という大まかなイメージしかありませんでした。しかし、現場見学等を通じて建設業について調べていくにつれて、「自分自身で考えたことが形になっていくことのやりがいや、工事が完成した時の達成感、他の何にも代え難いものではないか」と思うようになりました。そして、数ある建設業の仕事の中でも現場管理の仕事に関心が湧き、会社見学にて職場の人の働く姿や人柄に感銘を受け、現在の職場に入社しました。

どの仕事も同じことだとは思いますが、私も最初は何もわからずうまくいかないことばかりでした。現場管理の仕事は初めてのことの連続で、刺激的な毎日ですが、やりがいのある充実した毎日を過ごしています。

日常にあるものに携わる

【現在の仕事の魅力】

毎日私たちが当たり前のように目にしている建築物。その「当たり前の風景」の完成に向けて、スケジュール・予算・資材・環境・現場周辺の地域の方々への影響等、あらゆることに配慮しながら、たくさんの職人さんを動かしていくのが、私たち現場管理の仕事です。

責任が重く、大変な仕事ですが、誰もが目にするランドマーク的な建築物の施工に携わり、それが完成したときには、家族やお世話になった人への恩返しにもなると思っています。

「今あるものは当たり前ではない」ということを知り、新しい日常を造り上げることのできるこの仕事は、とても誇らしく、魅力があると感じています。

人とのつながりもこの仕事のおもしろさ

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

同じ会社の先輩・後輩はもちろんですが、一緒に作業して下さる職人さんとコミュニケーションをとる機会が多くあります。仕事の話だけでなく、時には世間話をしたり、悩みや相談まで聞いてもらうこともあり、絆を深めることができます。そのようなつながりを多く持つことは、とても心強いことです。

建設は決して一人では成し得ない仕事です。工事完成のためには、先輩や職人さんにかに頼ることができかが大切になります。人とのつながりを通じて、自分自身の成長を実感できる、そういった日々を楽しむことができるのがこの仕事のおもしろさの一つです。

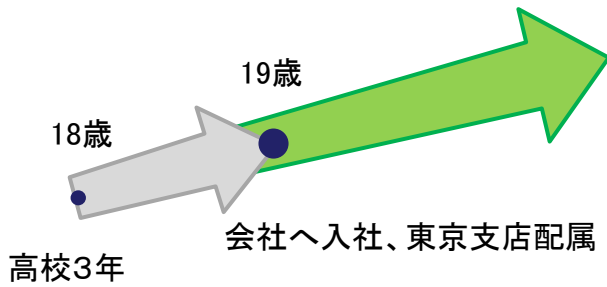
就職1年目で辞めたい。。。
今は、現場所長になりたい！！！！



建築職（施工管理）

関東・総合建設業

職歴4年目（平成28年度卒）



キャリアパス凡例



入社



高校3年生

施工管理を理解しないまま就職

【これまでのキャリアパス】

私は施工管理がこういった仕事なのか分からず、正直とにかく給料が良く有名な会社に行こうと思い就職しました。建設業には、きつい、きたない、危険という3Kという言葉があります。正直その通りでした。現場で作業をするのは職人さんだと思われませんが、若いうちは汚い仕事もまかされます。そして現場が終わると私達はまだ事務作業が残っているので毎日必ず残業の日々です。竣工がせまってくると、休みがなくなったり徹夜で働いたりすることもありました。1年目で辞めようと思いましたが、そんなに早く辞めるのはダサいと思い気力で続けました。すると、2年目からは少しずつ仕事を覚え余裕ができ、休日は趣味でストレスを発散したりと楽しく、充実した毎日を過ごしています。現在は2級施工管理技士、二級建築士の資格取得にも力を入れながら頑張っています。

自分の思い通りになること

【現在の仕事の魅力】

主に施工管理は施工図を作成したり、工程を考えたりしますが、若い時に任される仕事は安全です。職人さんが工程通りに安全に作業できるように、足場を組みます。こういった仮設工事を任されます。自分で図面をみたり現場をみながら組み方を考え図面を作成、そして材料を発注して職人さんに指示をします。完成したものが図面通りになった時は達成感が得られます。上手くいかないこともありますが、職人さんと相談しながら進めていくのも、勉強になり楽しく思います。

やる気がないとやっていけない

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

1年目から仕事ができる人はいません。でもやる気がない人には仕事も教えてもらえなくなります。建設業の所長は気が荒い人もいます。でも言っていることは正しいです。何を言われても、頑張れる人が向いている業界です。きついこともたくさんありますが、建物が完成した時の達成感がすごいです。